

「森林環境教育開催」

## 松陵小学校の巣箱づくり等体験学習

11月18日（木）酒田市立松陵小学校の四年生を対象とした「巣箱づくり等体験学習」を酒田市光ヶ丘の「万里の松原（さえずり森）」等で実施しました。

酒田地域は初冬としては珍しく晴天に恵まれて、作業しやすい少し寒さが残る小春日和の日となりました。

「巣箱づくり等体験学習」には四年生の二クラス 58 名、先生 2 名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター 4 名、庄内森林管理署 1 名、万里の松原に親しむ会 14 名、総勢 79 名で実施しました。

参加者の皆さんは学校の休憩室に集合し、本日の日程や巣箱の作り方等について、万里の松原に親しむ会事務局長より説明がありました。巣箱づくりは四年生 2 名に指導者 1 名の 3 名体制で製作することになり、図工室と四年二組の教室で行う事になりました。

本日製作する巣箱は二種類あり、一つ目が「シジュウカラ」などのカラ類用の育雛巣箱と二つ目がキツツキ類用の休息用巣箱です。それぞれグループで好きな方を選択して、作業に取りかかりました。各グループでは、設計図もない中でどのように組み立てれば良いか、木の部品を組み合わせては試行錯誤を繰り返していました。グループ内での意見の一致を見たところは、釘打ち作業に取りかかりました。釘打ち作業でもグループによっては、釘が曲がったり、薄い板から釘がはみ出したり、それぞれ悪戦苦闘していました。各グループの皆さんの頑張りでそれぞれの思いの入った巣箱が出来上がりました。万里の松原に親しむ会の会員からは、普段から釘打ち作業など行っている子供は少ないようで良い経験になったのではないかとこのことで、今後ともボランティアをとおして「万里の松原」の良さをPRし、後世に引き継いで行けるよう会員全員で頑張りたいと話がありました。

次に学校に隣接する「万里の松原（さえずりの森）」に向かい、さえずりの森を背に各グループで作成した自慢の巣箱を胸に抱いて、参加者全員で記念撮影を行いました。

それから、各グループで巣箱を設置する立木（クロマツ等）を選び、ボランティア団体の方々から掛けてもらいました。ある四年生の方からは、さえずりの森でいつも遊んでいるが、設置した巣箱にどんな鳥が巣づくりするのか楽しみと話してくれました。製作した全部の巣箱を立木の上に掛けおえて体験学習を終了しました。

